



2024年12月26日
住友生命保険相互会社

～プレコンセプションケア領域での企業向けサービス～ 不妊治療と仕事の両立を支援するWhodo整場（フードセイバー）で エーザイ株式会社のDE&I施策「DE&I Days」を支援

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、プレコンセプションケア※1領域における企業向けサービス「不妊治療と仕事の両立支援」ソリューション（サービス名称：Whodo整場（フードセイバー）※2）で、エーザイ株式会社（以下「エーザイ」）が12月に実施した従業員向けDE&I施策であるDE&I Daysを支援しました。

住友生命は、今後もWhodo整場（フードセイバー）を通じて不妊治療と仕事の両立に向けた企業の風土づくりを支援していきます。

※1 プレコンセプションケア（Preconception Care）とは、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと、そして、赤ちゃんを授かるチャンスを増やす、女性や将来の家族がより健康な生活を送れるようにする一連の取り組みのことです。

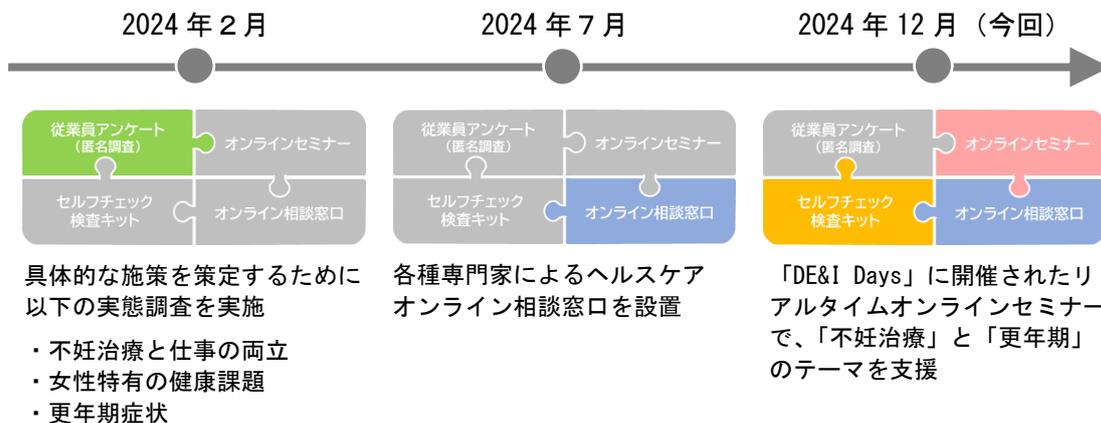
※2 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/corporative/non-insurance/whodos/>

1. エーザイへの支援について

住友生命のWhodo整場（フードセイバー）によるエーザイへの支援は2024年2月の従業員アンケートから開始しており、2024年7月からは不妊治療のほかヘルスケア全般に関するオンライン相談窓口の提供も行っています。

今回、エーザイが更なるDE&I推進を目的に、12月2日～4日で開催した「DE&I Days」において、リアルタイムでのオンラインセミナーおよびセルフチェック検査キットを提供しました。

<支援概要>



<今回の支援内容>

a. オンラインセミナー

| テーマ | 概要 |
|--------------------------|--|
| いつかは子供を欲しい と思っているあなたへ | 理想のライフプランを考えるための基礎知識や、未来に選択肢を残すプレコンセプションケアについて説明しています |
| 仕事と不妊治療を両立 した人の体験談 | 両立がなぜ難しく、離職に繋がるのか？ 工夫できるポイントやサポートする側のポイントなど、当事者の心情面と合わせて説明しています |
| 男女の更年期、基本のキ | 男女それぞれの更年期に訪れる心や体の変化に関する基本的な知識やチェックポイントについて説明しています |

b. セルフチェック検査キット

「もっと早く知りたかった」と後悔しないよう、気づきや自分ごと化の機会提供と早期の行動変容を促すために、エーザイ従業員に各キット先着 30 名で無償配布しています。

- ①卵巣年齢チェックキット
- ②運動精子濃度テストキット
- ③妊活おりものシート
- ④男性ホルモン検査（男性更年期）

c. オンライン相談窓口（2024 年 7 月より継続）

2. Who do 整場（フードセイバー）の今後の展望について

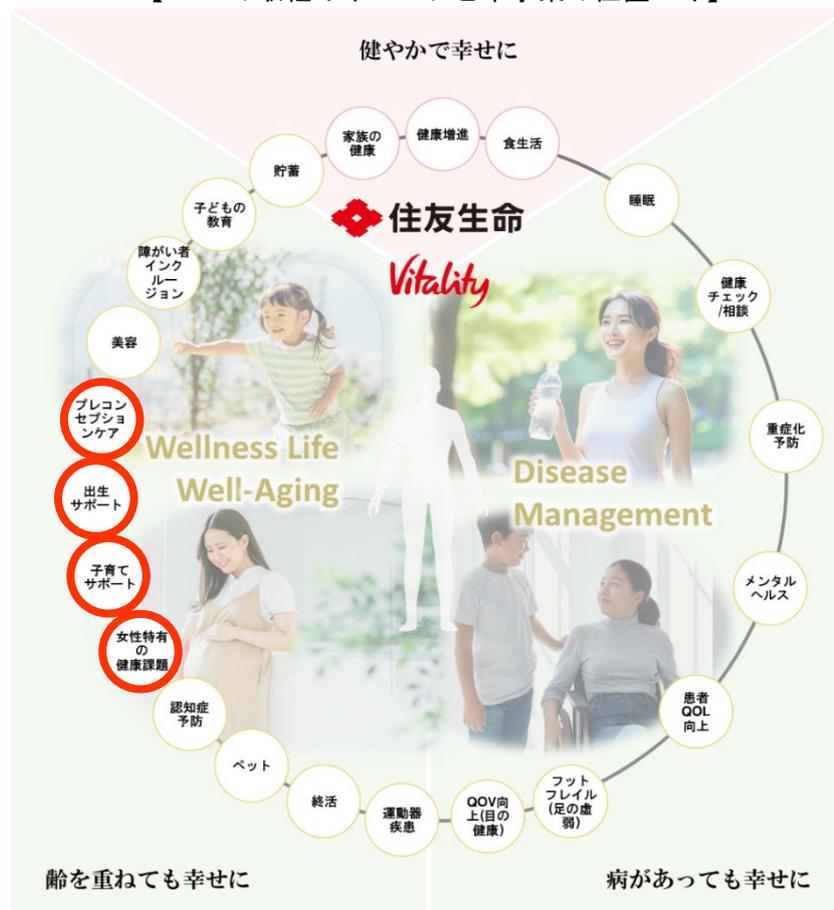
住友生命は、お客さまの健康増進をサポートする Vitality 健康プログラムを中心とした WaaS (Well-being as a Service) ※3を通じてお客さまのウェルビーイングに資するサービスの提供を目指しています。

その1つである Who do 整場（フードセイバー）の提供を通じて、企業で働く従業員一人ひとりが望んだ「理想のライフプラン」を実現できるよう、「不妊治療と仕事の両立」という大きな社会課題の解決や、いつかは子を持ちたいと思う従業員への早い段階からのサポートによる、社会課題そのものの縮小を目指します。

また、若年層に向けたプレコンセプションケアや、男性育休・産後うつに関するコンテンツの拡充も行っており、今後も社会のトレンドや企業からのニーズを踏まえて、協業パートナーを増やししながらサービスを充実させていきます。

※3 Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムのことです。

【WaaS の取組みイメージと本事業の位置づけ】



以上